



永井 孝佳 議員



### ネットリテラシー教育について

**問** ネット依存症、ネットによるいじめ、性被害、パパ活、闇バイトなどが増えているが、ネット教育の取り組みについて伺う。

**答** 主に道徳の授業の中でインターネットの使い方などを含めた情報モラルについて学習している。また、携帯電話会社や警察官等を外部講師としたスマホ教室を実施し、情報モラル教育に取り組んでいる。

**問** 子どものSNSによる犯罪被害者数を伺う。

**答** 全国の小・中学生の被害者数は令和元年が919件、令和2年が779件、令和3年が801件、令和4年が832件、令和5年が887件とやや増加傾向になっている。

**問** 警察や専門家によるネットモラル講習会を増やすべきでは。

**答** インターネットの世界は日々変化していることから、

引き続き対策について検討し、取り組んでいく。

### 地域意見交換会について

**問** 参加者の人数、性別、年齢層を伺う。

**答** 総合体育館は102名、海173名、女性が12名。年齢層は60歳代の方が多かったと感じている。

**問** 性別や年齢層が偏らないように参加者の集め方を工夫した方が良くと思うが見解を伺う。

**答** 地域意見交換会是对話による開かれた市政の主要な事業。子育て世帯や若者からの意見はまちづくりに欠かせないものであると認識しているため、対象者を検討する際の候補としたい。



総合体育館で行われた地域意見交換会の様子

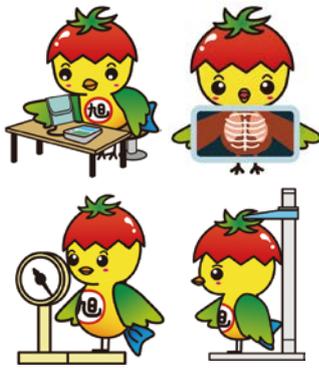
### その他の質問事項

- 投票率向上について
- 団体への補助金について

### 中学生のピロリ菌検査について

**問** 胃がんの99%がピロリ菌感染によるもの。感染しているかを判断するのは中学生年齢が最適とも言われている。中学生の健康診断の項目に検尿によるピロリ菌検査を追加できないか。

**答** 公費で実施する場合、総合的な判断が求められることから、保護者のニーズや他市の状況、陽性となった場合の対応などを含めて調査研究していきたい。



**問** 不登校やオンライン授業を受けている児童・生徒の健康診断はどのように行っているのか。

**答** 学校から保護者に対し、健康診断の意義や実施日などをお知らせしている。健診当日は、対象となる児童・生徒の実施時間を変更するなどの配慮や当日に登校できない場合には、保護者に対して学校医による受診が可能の日を連絡し、後日受診するよう案内している。

### 平和の継承について

**問** 広島での平和式典へ子ども派遣事業はできないか。

**答** この時期は学校や家庭、地域などの様々な行事が重なっていることから、広島市の平和記念式典への児童・生徒の派遣の実施については考えていない。

**問** 一人ひとりが平和への意識を繰り返し持ち続けることが大事。広島市から借用した貴重な資料やパネル・ポスターなどの展示会を開催できないか。

**答** 絵と文章による戦争体験を表現した「私の八月十五日展」を平成21年に県立東部図書館で開催したこともある。同様のイベントの計画は今のところないが、イベント形式や市民への周知方法を検討していきたい。

- AYA世代のがんについて



伊藤 春美 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。